



20年来グローバル コミュニケーションズ エキスパート。元JAXAエグゼクティブ アドバイザー(広報・国際担当)、国立大学法人山口大学客員教授(国際関係+コミュニケーション論)、評論家・オピニオンリーダー。東京生まれ、英国育ち。講演、テレビ、執筆、政府委員など、マルチに活躍する中で、IRと都市開発のコンサル会社代表も務める。  
<http://www.nishiuramidori.com>

## 連載 第6回

### “国際派大和撫子”が伝える宇宙の開発現場

にしうらみどりの

# 「宇宙の窓から」

## 国連宇宙空間平和利用委員会

**読**者の皆さまの中でコーパス(COPUOS)と聞いて、

国連宇宙空間平和利用委員会と浮かぶ方は、かなりの宇宙エキスパートではないでしょうか？

それでは、この重要な決議を行う国連議会の議長が日本代表だということをご存知でしょうか？

昨年より堀川康・JAXA技術参与兼外務省参与が、日本人初の議長を務めています。

COPUOSとは何をしているのか？と疑問に思っている読者の皆様に出来るだけ簡単に説明を試みると、1959年に国連の常設委員会としてスタート。文字通り、宇宙空間の平和利用のためにはどうしたらよいか参加国で知恵

を絞り、法律問題の検討や宇宙空間の研究をするための援助、情報交換



堀川議長(左)とNiklas Hedman 事務局長

などについて活発な議論をします。それらの活動報告書が国連総会に提出されるわけです。

筆者としては、専門分野であるグローバルコミュニケーションズを駆使した、地上における宇宙広報人材育成や科学者たちならびに研究開発を幅広く効果的な発信力をもって普及PRするノウハウなどについても、今後COPUOSで提言していきたいと思っています。

今年には特に、女性宇宙飛行50周年ということもあり、女性の社会進出を讃えるパネルディスカッションが開かれ、女性として初の宇宙飛行を成し遂げたロシアのテレシコワ女史をはじめ、日本、米

国、カナダ、中国からも女性宇宙飛行士が参加しました。  
自然科学、法律から医学、探査など宇宙に関するあらゆる課題について、各部門代表の女性たちと意見交換がなされ、今後の更なる女性社会進出の期待と共に謳われたのです。

その他にも、宇宙アプリ、宇宙天候、変動、防災、水資源などのグ

ローバルな課題にみる外せない重要課題も議論されました。

毎年6月にウイーンで開催されるCOPUOS。現在の加盟国は74カ国ですが、国連の会議では規模の大小、テーマを問わず、それぞれの国が自国の主張を展開しますから、数ある議題を円滑に纏め上げるには、議長の幅広い知識、情報力、議会推進能力、人間力などが必要不可欠です。

昨年、筆者が参加した折、肌で感じたのは、各国代表が堀川議長に信頼を寄せているということでした。好感を持たれ支持されるということは、我が国にとつて喜ばしく、かつ有利なことです。有能なNiklas Hedman 事務局長の支えも見ていて気持ちがいいです。

筆者も、お陰様で議長の指示に従い、メイン議場での会議とタイミングが重なってしまった小委員会の代理出席や、廊下外交で各国の本音を聞き出したり、連日のダイナー、レセプションでも、さりげないジャパンPR、プレゼンスを展開することで、議長のサポートを務めさせて頂くことができました。